

第11期 財務諸表に対する注記

特定非営利活動法人浜松NPOネットワークセンター

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法

(2) 事業費及び管理費の取り扱い

事業費及び管理費の区分は「3. 事業費及び管理費の内訳」として注記しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は「ボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

税込み経理で行い、簡易課税制度を適用しているため、納付すべき消費税等の額は、諸税公課として必要経費に算入しています。

2. 会計方針の変更

昨年度、「浜松外国人医療援助会(MAF浜松)」主催の「無料検診会」は「多文化共生事業」の枠でしたが、今年度、事務局代行事業として「NPO支援事業」の枠に入っています。

3. 事業費及び管理費の内訳

(単位:円)

科目	事業費	管理費	合計
人件費	37,307,425	1,096,445	38,403,870
その他経費	31,533,496	1,338,953	32,872,449
合計	68,840,921	2,435,398	71,276,319

4. ボランティアによる役務の提供の内訳

(1) 活動の原価の算定にあたって必要な受け入れ状況

内容	金額	算定方法
管理部門の作業 (メール管理運営、労務・会計、IT機器 管理、事務所管理、来客・電話対応、 総会・理事会運営)	737,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
NPO支援事業 (相談・取材、会議出席)	436,250	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
障害のある人の社会参加支援事業 (会議出席、相談)	141,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
多文化共生 (「わかものしゃべり場」運営・「路上演 劇祭」参加)	94,500	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
こども (総合学習支援コーディネイト)	3,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
ITによる支援 (会議運営、施設内IT講座運営)	54,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。
環境・地域の自立 (会議出席、イベントサブリダー)	30,000	雇用関係にあるスタッフによってボランティアに行われた活動時間に1000円をかけ、作業量に従って最小単位の事業ごとに按分しました。根拠は作業日報です。

(2) その他の受け入れ状況

上記の他、以下の事業においてもボランティア(無償・一部交通費支給)の方々のご協力を頂いております。

・多文化共生事業「進学ガイダンス」実施にあたり、53名の方々に1日間ご協力をいただきました。

・多文化共生事業「わかもの全国交流会」においては、2名の方に2日間通訳としてご協力をいただきました。

- ・「浜松外国人医療援助会(MAF浜松)」主催の「無料検診会」では事務局代行を担っていますが、230名の医療関係者・通訳の方々にご協力をいただきました。また、その事務局運営事業に関わり、3名の方々のご協力をいただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、水仙球根植え付け作業実施時に、安間川河川地域のおよそ150名の方々に1日ご協力をいただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、「水仙球根植え付け作業」実施のために、40名の方々に準備及び運営ボランティアとしてご協力をいただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、「コセンダングサ引き抜き実験」におき、26名の方々にご協力をいただきました。
- ・「水仙10年プロジェクト」において、「お花見ウォークラリー」実施のために、14名の方々に準備・運営ボランティアとしてご協力をいただきました。
- ・福祉施設での1年間にわたるパソコン講座に関わり、延べ30名の方々にご協力をいただきました。
- ・IT支援事業運営のために「西部MMC委員会」開催に関わり、8名の方々に3日間ご協力をいただきました。
- ・IT支援事業運営のために「西部MMCボランティアスタッフ会議」開催に関わり、7名の方々に12日間ご協力をいただきました。
- ・当法人ウェブサイト更新のために、1名の方に12日間ご協力をいただきました。
- ・当法人役員(理事・監事)8名の方々に、事業運営に関わる相談等、ご協力をいただきました。

5. 使途が制約された寄付等の内訳

使途が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備 考
個人寄付金	500,000	200,000	550,000	150,000	多文化共生事業に使途指定されています。
合計	500,000	200,000	550,000	150,000	

6. 固定資産の増減内訳

科目	期首時取得価額	新規取得価額	売却資産価額	売却価額	期末時取得価額
			期首帳簿価額	当期償却費	期末時帳簿価額
	2,481,373	154,000	470,473	0	2,164,900
什器備品		154,000	375,170	119,259	409,911

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下のようになっています。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	1,369,633	414,300
活動計算書計	1,369,633	414,300
(貸借対照表)		
仮受金	496,000	153,000
未払い金	8,407,609	449,602
貸借対照表計	8,903,609	602,602

8. 内部取引について

各プロジェクトの業績を適切に評価するために各プロジェクト間の取引を内部取引として表しました。